

令和 8 年 9 月 25 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 4 6 0 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 「令和 8 年度 病虫害発生予報第 7 号」（令和 8 年 9 月 9 日（水）付け）を発表しました
2. 中山間地域の農業所得の確保に向けた計画作成と実践を支援します！
3. 情報通信技術を活用して地域の課題を解決しませんか？
4. 飼料を見直して畜産でも温室効果ガスを削減しませんか？
5. スマート農業技術の導入等を支援する「スマ転事業」の要望調査を実施中です！
6. スマート技術体系の横展開を図る産地等を募集します！
7. 鳥獣被害対策やジビエ利用に係る優良な取組を募集します！
8. 先輩経営者に訊く経営実践インタビューを公開しました！
9. 自治体と企業の連携事例から学ぶ！オンライン情報交換会開催
10. オンラインスクール「右腕人材育成プログラム」「マーケティング」申込受付中！
11. 災害等のリスク対策はできていますか？
12. 「令和 7 年地球温暖化影響調査レポート（確報）」を公表しました！
13. 放牧、始めてみませんか？～放牧導入に役立つ情報集～
14. （みどり戦略技術紹介）高機能バイオ炭による土壌改良等技術
15. 「アグリビジネス創出フェア 2026」を開催します！

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

-
1. 「令和 8 年度 病虫害発生予報第 7 号」（令和 8 年 9 月 9 日（水）付け）を発表しました
-

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「令和 8 年度病虫害発生予報第 7 号」を発表しました。

気象庁の向こう 1 か月の予報（9 月 3 日付け）では、気温は、北日本、東日本及び西日本で高い、沖縄・奄美でほぼ平年並と予想されています。降水量は、北日本、及び西日本日本海側で平年並が多い、東日本及び西日本太平洋側で多い、沖縄・奄美でほぼ平年並と予想されています。日照量は、全国でほぼ平年並と予想されています。

大豆では、吸実性カメムシ類の発生が、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。

野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、北陸等の一部の地域で多くなると予想されています。

果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多いと予想されています。

この他、なしのハダニ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

◇ 「令和8年度 病害虫発生予報第7号」の発表について（令和8年9月9日(水)付け農林水産省プレスリリース）はこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/260909.html>

※ 都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

◇ 都道府県の病害虫発生予察情報などはこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：国内防除第2班）

TEL：03-3502-3382（直通）

2. 中山間地域の農業所得の確保に向けた計画作成と実践を支援します！

＜「中山間地域所得確保対策」に取り組みたい方を募集中！＞

中山間地域で農業をしている皆さん、「特産品の知名度を上げたい」、「パッケージデザインを検討したい」、「加工品の試作をしたい」などの悩みはありませんか？

このような悩みを解決するため、農林水産省では、中山間地域の地域資源を活かして農業所得を確保する取組を支援しています。

▼本事業の POINT

- ・ 定額（上限 500 万円/地区）の支援が受けられます
- ・ マーケット調査により製品のターゲット層を明確にすることができます
- ・ 加工品の試作や製品のパッケージデザインの検討、認知度向上のための取組ができます

- ・最大3年間の計画（事業期間は1年間）に基づき、地域の活性化につながります
- ・農業者団体や農業者（2人以上）でも事業実施主体になれます

令和8年度に活用できる事業です。ぜひ応募をご検討ください。

まずは関係者間で情報共有のうえ、早めのご相談をおすすめします。

◇ 「中山間地域所得確保対策」の詳細についてはこちら（農林水産省 web）

「3. 中山間地域所得確保対策の活用事例」も参考になります。

→ https://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sesaku/syotoku_kakuho.html

◇ 中山間地域所得確保対策のPRチラシ（PDF:891KB）はこちら（農林水産省 web）

→ https://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sesaku/attach/pdf/syotoku_kakuho-35.pdf

◇ お問い合わせ先

農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課（担当：中山間対策班）

TEL：03-3501-8359（直通）

3. 情報通信技術を活用して地域の課題を解決しませんか？

農業者の皆さまの中には、経営規模の拡大に伴う労働力不足や農業水利施設等の管理作業の増加などの課題を感じている方も多いのではないのでしょうか。こうした課題を解決するにあたって、スマート農業技術の導入や農業水利施設等の管理の省力化・高度化への期待が高まっています。農林水産省では、こうした取組を推進するため、光ファイバや無線基地局といった情報通信環境を整備できるよう「農業生産基盤情報通信環境整備事業」により、計画の策定から施設整備まで一体的に支援しています。

また、情報通信環境整備に関する取組を支援する官民連携組織「農業農村情報通信環境整備準備会」では、ホームページでの事例等の紹介、オンラインによるセミナー、対面式の研修会などを実施しています。さらに、支援を希望する地区には、課題解決の知見を有する企業等が個別に解決策を提案する「個別地区支援」も行っています。

都道府県、市町村、土地改良区のほか、農業法人を含む農業者の組織する団体であれば本事業への申請、準備会への入会が可能です。これらに関心のある農業者の皆さまにおかれましては、市町村、関係団体と課題や要望を共有いただき、地域における情報通信環境の整備をご検討ください。

その他、本事業及び準備会に関するご不明点等がございましたら、準備会事務局（農林水

産省地域整備課）にお問い合わせください。

◇ 農業生産基盤情報通信環境整備事業 A4 版リーフレット (PDF : 2,590KB) はこちら（農林水産省 web）

→

https://www.maff.go.jp/j/nousin/seibi/sogo/s_seibi/attach/pdf/jouhou_tsuushin-6.pdf

◇ 農業農村情報通信環境整備準備会のホームページはこちら

→ <https://nn-tsushin.jp/>

◇ 準備会入会等に係るお問い合わせ先

農林水産省農村振興局整備部地域整備課（担当：農村資源利活用推進班）

MAIL : nntsushin_jyunbikai@maff.go.jp

4. 飼料を見直して畜産でも温室効果ガスを削減しませんか？

温室効果ガス（GHG）の排出削減が求められる中、グリーンな飼養体系加速化事業では、GHG を削減する飼養技術を導入し、効果などを検証する際の費用を全額支援（上限 300 万円）しています。

対象となる GHG 削減技術は、アミノ酸バランス改善飼料、GHG 削減に資する飼料添加物、バイパスアミノ酸の給与です。検証結果を踏まえ、飼養マニュアルや産地戦略の策定、情報発信まで一体的に支援します。

令和 8 年 9 月 7 日（月）から 10 月 5 日（月）まで、要望調査を実施していますので、環境負荷低減による付加価値向上などをご検討の生産者や関係団体の皆様は、ぜひ本事業の活用をご検討ください。

◇ グリーンな飼養体系加速化事業の詳細についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_tiku_manage/250515.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省畜産局総務課（担当：川上、森本）

TEL : 03-6744-0568（直通）

5. スマート農業技術の導入等を支援する「スマ転事業」の要望調査を実施中です！

農林水産省では、令和7年度補正予算及び令和8年度当初予算において、労働生産性の高い農業構造への転換に向けて、スマート農業技術の現場導入とその効果を高める栽培体系への転換の取組を支援する、「スマ転事業（正式名称：スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業）」を実施しております。

スマ転事業では、スマート農業技術の導入とその効果を高める栽培体系への転換を一体的に実施する取組に必要な機械導入費等を支援します。

地域型は都道府県を通じて要望調査を実施しておりますので、スマート農業技術の導入をご検討中の農業者の皆さまは、お住まいの都道府県や最寄りの農業関係機関にご相談ください。

※広域型（都道府県域等をまたぐ取組）の公募は実施しておりません。

◇ スマ転事業の詳細についてはこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/sumaten.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局技術普及課（担当：宮永、永田、土屋）

TEL：03-6744-2107（直通）

6. スマート技術体系の横展開を図る産地等を募集します！

（一社）全国農業改良普及支援協会では、スマート農業技術を活用し、その導入効果を大幅に高める栽培体系への抜本的な転換等を行っている先行事例を効果的に横展開するための取組を支援しています。

9月24日より第4次公募を開始しましたので、お知らせいたします。

1 支援内容

スマート農業技術を活用し、その導入効果を大幅に高める栽培体系への抜本的な転換等を行っている先行事例を効果的に横展開するための産地の取り組みを支援します。

2 支援対象となる取り組み

（1）展示圃場の設置

（2）講習会・研修会の開催

（3）その他（1）（2）に関連する必要な推進活動

3 応募団体の要件

都道府県・市町村・国研・独法・J A・J A連合会・農業者・民間企業・任意団体等

4 応募方法

公募要領をご確認の上、指定の応募申請書により（一社）全国農業改良普及支援協会宛電子メールでお申し込みください。申込は随時受け付けますが、最終期限は 11 月 30 日（月）とします。

◇ 詳細についてはこちら（（一社）全国農業改良普及支援協会 Web）

→ <https://www.jadea.org/news/20240924/>

◇ お問い合わせ先

（一社）全国農業改良普及支援協会（スマート農業転換事業担当）

TEL：03-5817-4992

MAIL：smart-pro@jadea.jp

7. 鳥獣被害対策やジビエ利用に係る優良な取組を募集します！

鳥獣被害対策やジビエ利用に取り組み、全国や地域への貢献している個人や団体を表彰する「令和 8 年度鳥獣対策優良活動表彰」の募集を行っております。

本表彰は、農村地域等において鳥獣被害防止や捕獲した鳥獣の食肉（ジビエ）、ペットフード、皮革等への利活用等（以下、「鳥獣対策」という。）に取り組み、地域に貢献している個人及び団体を表彰し、これらの優良事例を広く紹介することにより、更なる鳥獣対策の推進を図るものです。

応募方法は、都道府県による推薦又は農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー等による推薦の 2 通りとなります。

鳥獣対策に取り組む皆様からのご応募をお待ちしております。

1. 表彰内容

- ・農林水産大臣賞 2 点以内
- ・農林水産省農村振興局長賞 6 点以内

2. 募集期間

- ・都道府県による推薦

応募者から都道府県鳥獣被害対策担当部署への提出期限：10 月 30 日（金）

※都道府県から鳥獣対策・農村環境課への推薦調書提出期限：11 月 13 日（金）

- ・アドバイザー等による推薦

アドバイザー等から鳥獣対策・農村環境課への提出期限：11月13日（金）

◇ 令和8年度鳥獣対策優良活動表彰について（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/R8choju-hyousyou.html>

◇ 応募方法など詳細は農林水産省プレスリリースをご覧ください。（農林水産省 web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/260904.html>

◇ これまでの表彰者及び表彰団体一覧（農林水産省 web）

→

https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hyousyou_zirei/hyousyou/hyousyou_ko remade.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 鳥獣対策・農村環境課（担当：鳥獣被害対策技術普及班）

TEL：03-6744-7642（直通）

8. 先輩経営者に訊く経営実践インタビューを公開しました！

農業者の皆さまの経営発展に必要な経営管理能力の向上を支援するオンライン研修プログラムと連携して、受講登録（無料）した方限定で、経営者のインタビュー動画を公開しています。

第1回のインタビュー動画については先日公開し、第2回以降は順次公開を予定しております。

◇ 経営実践インタビュー 【各回 30 分程度】

- ・第1回 ROSELABO 株式会社 田中綾華氏（公開中）

テーマ：強みを生かす経営

- ・第2回 株式会社ビビッドガーデン 秋元里奈氏（10月中下旬公開予定）

テーマ：選ばれる商品づくり

- ・第3回 株式会社しゅん・あぐり 臼倉正浩氏（11月中下旬公開予定）

テーマ：人材の確保と労務管理

◇ 研修プログラム

- ・初級コース

経営管理、経営戦略と経営者マインドの大切さを学べる全1科目

・中級コース

経営戦略、会計・税務、労務管理などを学べる全13科目

※いずれのコースも無料の利用登録が必要です。

より良い農業経営のためにぜひご活用ください。

◇ 経営実践インタビューの詳細はこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/ikusei_kyogikai.html#interview

◇ 研修プログラムの利用登録はこちら（農林水産省 Web）

→ <https://agri-educ.maff.go.jp/keiei/login>

◇ お問い合わせ先

株式会社 QUICK（農林水産省令和8年度経営発展・就農促進委託事業受託先）

TEL：050-1706-3124（平日 9:00～17:00 ※土日・祝日は除く）

（農林水産省担当課）

農林水産省経営局経営政策課（担当：法人育成班）

TEL：03-3502-6441（直通）

9. 自治体と企業の連携事例から学ぶ！オンライン情報交換会開催

「新しい産地に進出したい」

「複数地域で経営展開してみたい」

今回のオンライン情報交換会のテーマは、「自治体と進める農業参入」。

ファシリテーターには、全国各地で事業を展開する株式会社浅井農園 浅井雄一郎氏をお迎えします。

また、自治体と連携して農業参入を実現した株式会社オブティム・ファームと、企業の農業参入を支援する群馬県高崎市から、実際の取組をご紹介します。

○他地域での事業展開はどのように進めるのか

○自治体との連携はどのように始まるのか

○農地や地域とのつながりをどう築いているのか

経営発展や新たな地域での展開に関心のある農業者の皆さまはもちろん、企業誘致を検討している自治体の皆さまにも参考となる内容です。

ぜひ、ご参加ください。

■ 第2回オンライン情報交換会

日 時：令和8年10月27日（火曜日）14:00～15:30

テーマ：「自治体と進める農業参入」

出演者：株式会社浅井農園 代表取締役 CEO 博士（学術）浅井雄一郎氏

株式会社オプティム・ファーム 代表取締役社長 休坂健志氏

群馬県高崎市農政部農政課 課長 吉岡雄一郎氏

◇ 申込はこちら（参加無料）

→ <https://survey.mynavi.jp/cre/?eng=subhoPurMy8%3d>

◇ 詳細はこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/sannyu/sannyufair.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局経営政策課（担当：担い手・法人企画班）

TEL：03-6744-2143（直通）

10. オンラインスクール「右腕人材育成プログラム」「マーケティング」申込受付中！

日本の農業の未来を担う農業者向けのオンラインスクール「AFJ 日本農業経営大学校」より、「右腕人材育成プログラム」「マーケティング」講座のご案内です。

■ 右腕人材育成プログラム（オンライン講義）

組織の成長を支え、今後の経営を担う農家子弟や従業員を対象としたリーダー育成プログラムです。

農業経営の現場に即した実践的なカリキュラムを通じて、生産のプロから「経営と組織を動かすプロフェッショナル」への成長をめざします。

○ 日時：2026年12月21日（月）～2027年2月22日（月）（全6回）

○ 受講料：44,000円（税込）

○ 定員：20名（先着順）

○ 申込方法：2026年12月2日（水）17:00までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら（（一社）アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP）

→ https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/right_hand_person/

■ マーケティング（オンライン講義）

市場変化や顧客ニーズを見極め、成果に繋がる戦略的思考を磨く実践型プログラムです。バリューチェーンやブランド、価格設定など幅広いテーマを学習。オリジナルケースによる学び、全国の農業者との議論、自社課題への個別フィードバックを通じ、経営に直結するマーケティング思考を習得します。

- 日時：2026 年 12 月 22 日（火） ～ 2027 年 3 月 24 日（水）（全 6 回）
- 受講料：55,000 円（税込）
- 定員：20 名（先着順）
- 申込方法：2026 年 12 月 1 日（火）17:00 までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら（（一社）アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP）

→ <https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/marketing/>

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL：application-online@afj.or.jp

TEL：03-5781-3751

11. 災害等のリスク対策はできていますか？

8 月に発生した千葉県や北陸地方での豪雨をはじめ、地震や台風などの災害が各地で相次いで発生しています。こうした災害により、想定外の被害を受ける農業経営体も少なくありません。大切な経営を守るため、この機会に災害等のリスク対策について改めて考えてみませんか？

農林水産省では、農業経営のリスクへの備えとして、収入保険への加入に加え、緊急時の対応や事業継続の手順を整理した「農業版 BCP（事業継続計画）」の策定を推進しています。

実際に農業版 BCP を策定した農業者からは、「BCP 作成を通じて家族と緊急時の対応を共有していたことで、豪雨の際、農業機械の移動等を迅速に行えて浸水被害を未然に防ぐことができた。」といった声も寄せられています。

農林水産省 Web サイトでは、農業版 BCP の策定に役立つ資料や作成ツールを掲載していま

す。ご自身の経営安定のためにも、収入保険への加入と併せて、農業版 BCP の策定に取り組んでみましょう！

◇ 農業版 BCP について、詳しくはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html

◇ 収入保険について、詳しくはこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/syunyuhoken/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省保険課（担当：収入保険企画班）

TEL：03-6744-7148（直通）

12. 「令和 7 年地球温暖化影響調査レポート（確報）」を公表しました！

今回の確報版は令和 8 年 3 月 27 日（金）に公表した速報版のデータを確定するとともに、地球温暖化による農畜産物への影響、適応策の普及状況、地球温暖化適応策等に関する参考情報を掲載しています。

皆様におかれましては、今後の農業経営の継続のために本レポートに示されている影響、適応策等を参考として頂ければと思います。

◇ 「令和 7 年地球温暖化影響調査レポート（確報）」の公表について（令和 8 年 8 月 28 日付け農林水産省プレスリリース）はこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/260828.html>

◇ 「令和 7 年地球温暖化影響調査レポート（確報）」（PDF:7,100KB）はこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/attach/pdf/report-85.pdf>

◇ 農林水産省の地球温暖化対策はこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局農業環境対策課（担当：地球温暖化対策推進班）

TEL：03-3502-5956（直通）

13. 放牧、始めてみませんか？～放牧導入に役立つ情報集～

放牧は、労力や飼養コストの軽減が期待できる飼養管理方法のひとつです。また、家畜の運動量が増え、分娩事故の低減や繁殖成績の向上が期待されるほか、荒廃農地等を活用した放牧では、未利用地の有効活用や景観の維持・保全にもつながります。

このようなメリットから、舎飼いから放牧への転換を考えている方や、ゆとりある畜産経営の実現を目指して放牧経営に関心を持つ新規就農者の方も少なくありません。

一方で、実際に放牧を始めようとしても、「何から取り組めばよいのか分からない」「参考となる情報が少ない」といった声がよく聞かれます。

農林水産省では、情報提供を目的として「放牧の部屋」を公開しています。放牧に関する基礎知識や各種情報を掲載していますので、ぜひご参照ください。

◇ 「放牧の部屋」はこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/shiryo/houboku/houboku.html>

また、一般社団法人日本草地畜産種子協会では、酪農・肉用牛経営における放牧の導入を検討している方や新規就農者向けに「放牧を知ろう！始めよう！」を公開しています。放牧の導入事例や技術情報が豊富に掲載されていますので、放牧に関心のある方はぜひご活用ください。

◇ 「放牧を知ろう！始めよう！」はこちら（（一社）日本草地畜産種子協会 Web）

→ <https://souchi.lin.gr.jp/houboku-guide/lp/houboku/>

◇ お問い合わせ先

農林水産省畜産局飼料課（担当：早坂、鈴木）

TEL：03-6744-2399（直通）

（一社）日本草地畜産種子協会（担当：関、井上（利））

TEL：03-3251-6501（代表）

14. （みどり戦略技術紹介）高機能バイオ炭による土壌改良等技術

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、現場への普及が期待される技術をご紹介します。

今回は、有機転換・炭素貯留を両立する高機能バイオ炭による迅速な土壌改良・連作障害緩和・有機質肥料活用技術です。

土壌の保水性を改善する機能と、バイオ炭に定着する微生物群による有機態窒素の無機化・硝化を促す機能を合わせ持つ高機能バイオ炭「宙炭(そらたん)」を、有機質肥料とともに撒くことで、土壌改良が進行し、連作障害が緩和されます。

本技術により従来、長年かけて作られる土壌の有用微生物群を迅速に土壌内に再現ができます。なお、高機能バイオ炭の施用は、地域の施肥基準を満たすよう施肥設計の内、最低 5 kg/10a は有機態窒素を元肥に利用する必要があり、また、施用時期については播種又は定植の約一か月前に散布、すき込む必要があります。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：その他) (PDF：961KB) p. 9
有機転換・炭素貯留を両立する高機能バイオ炭による 迅速な土壌改良・連作障害緩和・有機質肥料活性技術（農林水産省 Web）

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/10_midori_catalog5_other.pdf#page=9

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室（担当：推進班）

TEL：03-3502-3162（直通）

15. 「アグリビジネス創出フェア 2026」を開催します！

農林水産省は、令和 8 年 11 月 11 日（水）～13 日（金）の 3 日間、東京ビッグサイトにおいて、農林水産・食品分野の技術交流展示会「アグリビジネス創出フェア 2026」を開催します。今年は、“フードテック×スタートアップ —技術をつなげ、未来をつくる—”をテーマに、様々な展示や企画を行います。

日 程： 令和8年11月11日(水)～13日(金) 各日 10:00～17:00

会 場： 東京ビッグサイト西4ホール

9月8日(火)から、来場事前登録を開始しました。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

今年は、全国の167の機関が最新の研究成果を紹介(実機展示、実演等)するとともに、ノウタス株式会社代表取締役会長の高橋明久氏による基調講演及び他の登壇者を交えたトークセッション、農林水産・食品分野のスタートアップの創出に向けたセミナーなど、様々な企画を行います。

また、会場内に農林水産・食品分野の専門家が常駐するカウンターを設け、来場者からのマッチングに関する相談やテーマごとに展覧ブースを巡るマッチングツアーを受け付けますので、ぜひ御利用下さい。

◇ 来場事前登録

→ <https://agribiz.maff.go.jp/register>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課産学連携室

TEL：03-3502-5530(直通)

◆◆◆編集後記◆◆◆

今年のシルバーウィークは11年ぶりの5連休でした。皆様はどのように過ごされたでしょうか。とはいえ、連休中も台風による大雨の被害のニュースが続きました。被害を受けた地域の皆様が、一日も早く平穏な生活を取り戻されることを願っております。

さて、私は連休を利用して実家に帰省し、稲刈りの手伝いをしました。幸いにも大雨による被害はありませんでしたが、今月に入ってから断続的に雨が降ったため、ぬかるんだ田んぼでの作業となりました。また、稲の水分が多かったためか、機械での作業も思うように進まない場面がありました。改めて、農業が自然条件に大きく左右される仕事であることを実感しました。普段から食べている米の生産現場では、生産者の皆様の努力と工夫の積み重ねがあることを感じた連休でした。これから新米が本格的に流通する季節を迎えますが、生産者の皆様への感謝の気持ちを忘れずに味わいたいと思います。

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



- 電子出版：農業担い手メールマガジン
- 発行日　：毎月 1 回発行
- 発行元　：農林水産省経営局経営政策課　担当：大木

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

